

# 平成 31 年度事業計画書

平成 31 年 3 月 22 日

公益財団法人高知勤労者福祉サービスセンター

## 平成 31 年度事業計画について

クンペル高知は、昭和 47 年 12 月に「高知市勤労者互助会」としてスタートした。

昭和 53 年 7 月に制度一新により「新生 高知市勤労者互助会」として再スタートし、平成 30 年 7 月には再スタート後 40 周年を迎えた。この間、平成 6 年に鏡村・土佐山村を圏域に加えるとともに法人化を図り、平成 10 年に南国市が加わり、平成 24 年には公益法人化を図った。

クンペル高知は、会員拡大を図るとともに福利厚生サービスを充実し、経営の安定化につなげていくことが求められており、設立 40 周年を契機として、さらなる発展をめざす必要がある。

### 1 会員の拡大

昭和 53 年度末の加入事業所数 685、会員数 1,984 人であり、会員数が低迷する時期もあったが、法人化を契機に会員拡大が図られ、平成 25 年度以降は加入促進員の増員により会員数が一定伸びてきた。

しかし、ここ 1、2 年は伸び悩み傾向にあり、個人事業主 1 人だけの加入や個人会員の入会も目立つようになってきた。これは、シルバー人材センターに委託する加入促進員の高齢化や促進活動の行き詰まりなどによるものであったため、平成 29 年 9 月末に従来の加入促進員制度を廃止し、新たに加入促進員を平成 30 年 4 月 1 日採用配置し、より計画的な取り組みを行い、会員数の拡大に一定の成果が出てきた。しかし、加入促進員が平成 31 年 2 月末で退職したため、新たな加入促進活動を推進する人材を早期に採用するよう準備を進めている。

### 2 福利厚生サービス等の充実

クンペル高知は、慶弔共済給付金や各種助成金事業を柱として、会報誌に掲載しているようなコンサートやシネマ、ランチ・ディナーなど多彩な事業を実施しており、協力関係にある事業所とさらなる連携を図るとともに、新たな事業所の掘り起こしも行き、各事業のブラッシュアップを行いながら、魅力あるサービスとして会員に提供していく。

### 3 業務等の改善

#### ○ 会費の滞納処理について

平成 29 年度に引き続き、平成 30 年度も、会費が 3 か月滞納となった時点で、未納事業所に支払いを強く求め、それに応じない場合は強制退会とするなど、厳しく対応している。今後も、こうした毅然とした対応を継続していく。

#### ○ アクションプランについて

平成 29 年 5 月に、クンペル高知の今後の事業運営のあるべき方向性を示すとともに、より確実かつ効率的な取り組みを推進することを目的としてアクションプランを策定した。

職員全員が目標を共有化し、PDCA サイクルに基づき、積極的に計画実現に取り組むことを目的とするものであるが、職員の目的意識を高めながら、計画の実現をめざす。

○ ホームページの再構築について

平成 30 年度には、ホームページのスマートフォン対応といった新たな機能の導入に取り組んだ。

また、お知らせや募集等の記事は最新のものを積極的に情報発信するように心がけているが、タンペル高知のこうした取り組みは、先進の S C に比べれば遅れた取り組みであり、常に I C T (情報通信技術) の進展を踏まえ、改善を重ねていく必要がある。

## <事業計画>

### 1 在職中の生活安定事業

慶弔共済給付金／5年在会記念品(525名)／生活・教育資金貸付／介護サービス利用助成(11名)

#### ○ 在職中の生活安定をめざして

##### (1) 慶弔共済給付事業

一般財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会との協定に基づき、各種祝金・見舞金・弔慰金の共済給付事業を推進する。

##### (2) 生活資金・教育資金の貸付事業

四国労働金庫の協力を得て実施しているが、今後も引き続き制度の周知に努める。

##### (3) 5年在会記念品給付事業

センター独自の事業として、平成31年度も5年在会の会員に対し記念品(防災用品)を贈呈する。

##### (4) 高齢対策支援事業

在宅で介護する会員を支援するため、介護サービス利用助成事業を引き続き推進する。

##### (5) 「こくみん共済」(全労済)、「全福ネット入院あんしん保険」(全福センター)のPRに努める。

## 2 健康維持増進事業

実施時期	行 事 名		予定人員	備 考
H31 年度中	生活習慣病予防検診・人間ドック受診助成		1,060	
	プール	市営プール（温水）	350	
		県営プール（温水）	210	
		くろしおアリーナ（温水）	250	
	トレーニング	市営トレーニング	400	
		くろしおアリーナトレーニング	170	
		南国市立スポーツセンタートレーニング	130	
	入浴券	桂浜荘	250	
		オーベルジュ土佐山	60	
		三翠園水哉閣（一般・高齢者）	1,230	
		長岡温泉	480	
テニス・ゴルフスクール利用助成		5		
家庭常備薬斡旋		全会員	年2回	
7月～9月	夏期プール	市営プール（水）	150	
		県営プール（水）	150	
		くろしおアリーナ（水）	240	

※入浴券 鏡文化ステーションR I Oは、取扱い終了

### ○ 健康の維持増進をめざして

#### (1) 生活習慣病予防検診・人間ドック受診助成事業

勤労者にとって大切な健康づくりや健康チェックのために、引き続き生活習慣病予防検診や人間ドックの受診助成を推進する。

#### (2) 健康維持増進のための施設利用助成

「高知市トレーニング施設」「南国市立スポーツセンター・トレーニング室」「県営・市営プール」「各種入浴券」の利用助成を図る。

#### (3) 健康維持増進に係る斡旋事業

平成18年度より開始した「家庭常備薬」の斡旋事業について、引き続き斡旋を行う。

### 3 老後の生活安定事業

中小企業退職金共済制度2事業所10名(平成31年度中)

#### ○ 老後の生活安定をめざして

「中小企業退職金共済制度」(全福センター), 「ず〜っとあんしん共済」(全労済)の普及・加入促進に努める。

### 4 自己啓発及び余暇活動事業

実施時期	行 事 名		予定人員	備 考
H31 年度中	新入社員研修		15	4月・3月
	NHK 学園受講助成		10	
	交流館講座助成		90	
	旅行参加助成・航空券+ホテル <sup>レ</sup> ラン助成		45	
	映画チケット		4,620	年6回
	TSUTAYA レンタルチケット		90	
	ランチパスポート		1,280	年4回
	図書カードNEXT		600	年2回
	観劇・コンサート・展覧会等		1,895	
	高知市夏季大学		25	
	夏季プール	サンピアプール	900	
	ビアガーデン		850	6か所
	食事チケット		9,984	
	ゴルフ練習場	イーグル荒倉・サンピアシリーズ	380	
	ボウリング	ボウルかつらしま	100	
ギフト幹旋(ハム等)		全会員		

開催時期を年度中としている事業は、日程及び内容が決まり次第「会報誌」でお知らせします。

#### ○ 自己啓発及び余暇活動の充実をめざして

- (1) 「利用割引協定契約施設」の拡大に取り組むとともに、その利活用を推進する。また、全国のSC会員の利用推進に取り組む。
- (2) 「スターバックス コーヒーセミナー」に続く「ビールの教室」の開催や、「図書カードNEXT」の販売助成などを継続するとともに、トレンドを押さえた事業展開を図る。
- (3) ホテル等飲食店で行なう期間限定の季節メニューなどの利用助成を引き続き実施し、より魅力的な内容で会員に提供できるよう工夫する。
- (4) 生涯学習奨励との観点から、NHK学園の通信講座、ユーキャン、高知市夏季大学、新入社員研修等の受講助成を行う。
- (5) 文化教養レクリエーション支援事業として、観劇・コンサート・展覧会・映画のチケット等の利用助成を推進する。
- (6) 自己啓発やリフレッシュなど様々なニーズに応えるため、当交流館で実施する自主講座に参加する会員への受講助成を継続する。

## 5 財産形成に係る事業

### 住宅資金貸付事業

四国労働金庫の協力を得て実施しており、近年、住宅資金の貸し付けが増加している。今後も、センター会報誌等を通じて周知に努める。

## 6 情報提供事業

・会報誌 ・ガイドブック ・利用割引ガイドブック ・全国協定案内チラシ ・ホームページ

### ○ 情報の提供

- (1) センター会報誌「クンペル高知」を隔月（偶数月）年間6回発行するなど情報の提供に努める。
- (2) ホームページや広報用動画の活用を通じ、SC事業の周知を広く行う。
- (3) 全福センターや中・四国ブロック協議会等を通じ、全福会員向けのサービス事業に関する情報を収集し、会員への提供に努める。

## 平成 31 年度高知市勤労者交流館管理運営事業計画について

クンペル高知としての、勤労者交流館の 3 期目の指定管理業務が、平成 31 年 3 月 31 日で終了するため、新たに平成 31 年 4 月 1 日から平成 36 年 3 月 31 日までの、5 年間の指定管理業務の公募に応募し、審査委員会の審査や 12 月議会を経て、4 期目の指定管理者として指定された。なお、応募した団体・事業所は、クンペル高知だけであった。

建物・設備の老朽化が進み、年々、修繕箇所が増えており、特に給排水管やトイレの改修等が早期に必要となっている。

貸室事業については、津波避難施設整備工事のため、利便性が一番高い玄関前の駐車場が無くなり、ただでさえ利用しづらい駐車場がさらに利用しづらくなるなど、利用者に一層の不便を掛けてしまうような状態となっている。

このため、少しでも駐車場台数が改善されるよう、平成 31 年度には、交流館周辺の駐車場整備に取り組む予定である。

平成 30 年度の交流館の収支は、貸室の利用率は下がったものの、自主事業の黒字や一層の経費削減に努めたことから、収支は平成 29 年度よりは改善されるものと見込んでいる。

### 1 施設の管理運営

- (1) 「高知市勤労者交流館管理運営に関する協定書」に基づく善良な管理を実施する。
- (2) 「高知市勤労者交流館管理運営マニュアル」に基づき、利用者に対してきめ細やかなサービスに努める。
- (3) 施設・設備の計画的な修繕に向けて、今後も高知市と協議しながら取り組む。
- (4) 高知市は駐車場台数の改善に向けて、樹木の撤去や花壇の一部撤去、ライン引き等の改修工事を平成 31 年度に行う予定であり、その改善が期待されるが、工事期間中の貸室や講座への影響を見極めながら対応する必要がある。

### 2 講座事業の実施

交流館事業の収支悪化の要因の一つが、講座事業の収益性が低かったことであり、平成 30 年度は、年 3 回であった講座を年 2 回に減らした。また、定員を充足しても赤字となるギター、ウクレレの講座を廃止するとともに、受講料 5,000 円を 6,000 円に値上げした。この結果、平成 30 年度は 5 つの講座が全て黒字となった。

このため、平成 31 年度は、引き続き 5 講座を開催するとともに年 2 回に減らしていた講座を 3 回（ズンバは 2 回）に戻すこととした。

また、利用率の低い和室で講座事業を開催することで、和室の利用率のアップを図ろうと新たな講座としてロコモ予防&スタイルアップエクササイズを開催することとした。

### 3 総合労働相談の実施

雇用問題や賃金、年金、労災、パワハラ、セクハラ等さまざまな労働に関する相談窓口として毎月 1 回定期的に開催している。平成 31 年度も高知市広報「あかるいまち」やセンター会報誌・ホームページ等で周知に努めながら引き続き開催する。



## 平成 31 年度ファミリーサポートセンター事業計画について

### 1 ファミリーサポートセンターの広域連携について

高知市は、連携中枢都市圏の形成に向け、平成 29 年 12 月議会において県内 33 市町村と連携協約を締結し、高知県とも連携を図りながら平成 30 年 4 月以降「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」に掲げる諸事業に取り組むこととしている。

この広域都市圏ビジョンには、子育て支援事業として「ファミリーサポートセンターの広域連携」が掲載されており、ファミリーサポートセンターの市町村の枠を超えた相互利用や運営ノウハウの提供等への協力が求められている。

また、クンペル高知が運営する「こうちファミリーセンター」及び「なんこくファミリーサポートセンター」は、センター運営や講習会カリキュラムの統一化を図るとともに、援助会員は両市間の転居であれば援助活動は引き続き可能とすることや、市域を超えた援助活動も可能とするなど、密接な連携を図っている。

さらに、平成 31 年度は、「こうち」「なんこく」で開催される「保育サービス講習会」「フォローアップ講習会」には、どちらの市民も相互利用できる講習会として広報を行い、利便性の向上を図ることとした。

### 2 こうちファミリーサポートセンターについて

「こうちファミリーサポートセンター」は平成 16 年 7 月にセンターを開設し、平成 16 年度末の総会員数 268 名、活動件数 323 件であったものが、現在では、総会員数は約 1,300 名、活動件数は年間 5,000 件を超えている。

高知市の「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」に掲載された「ファミリーサポートセンターの広域連携」の事業が平成 30 年度にスタートしたことから、高知市子ども育成課との役割分担を明確にしなが、市町村の枠を超えた相互利用など広域連携の取り組みへの協力を進めていく。

#### (1) 年間活動予定（概要）

- ・ サブリーダー会：年 11 回、10 名配置予定
- ・ 交流会：会員とその家族を対象に年 1 回開催予定。
- ・ クリスマス会：会員とその家族に加えて一般も対象に年 1 回開催：毎年多彩なイベントを凝らし、センターの PR も兼ねながら、会員や一般の子育て家庭に好評である。
- ・ 保育サービス講習会：年 3 回
- ・ フォローアップ講習会：年 4 回
- ・ ファミサポ通信の発行：年 3 回×2,500 部、配布先：会員・保育園・その他関係施設

(2) 研修会・交流会出席等の予定

内 容	開催地・視察先
女性労働協会主催 全国情報交流集会	大阪
女性労働協会主催 リスクマネージメント・セミナー	大阪
高知県主催 アドバイザー研修会 1回	高知

(3) 関係機関との連携

- 保育所や幼稚園との連携
  - ・ ファミリーサポートセンターの事業説明
  - ・ センターと協力保育所（89園）との連絡会議 年3回
- 民生委員児童委員協議会での事業説明

3 なんこくファミリーサポートセンターについて

南国市の子育て家庭におけるファミリーサポートセンター事業に対する周知度はまだまだ低く、周知度を上げ、また、隠れている子育て支援ニーズを掘り起こしていく必要がある。

平成30年度に引き続きファミリーサポートセンター事業のPRに積極的に取り組んで会員拡大を図るとともに、依頼会員に安心いただける援助活動を着実に積み上げ、子育て家庭はもちろん、地域に信頼される「なんこくファミリーサポートセンター」をめざす。

(1) 年間活動予定（概要）

- ・ 交流会：会員とその家族を対象に年1回開催。
- ・ 保育サービス講習会：年3回
- ・ レベルアップ講習会：年2回
- ・ ファミサポ通信の発行：年2回×500部，配布先：会員・保育園・その他関係施設

(2) 研修会・交流会出席等の予定

内 容	開催地・視察先
女性労働協会主催 全国情報交流集会	大阪
女性労働協会主催 リスクマネージメント・セミナー	大阪
高知県主催 アドバイザー研修会 1回	高知

(3) 関係機関との連携

- 南国市保健福祉センター，南国市福祉事務所，こども相談所等への相談や情報共有
- 保育施設，学童クラブとの連携
- 地域子育て支援センターとの交流（意見交換・交流会参加）
- 南国市社会福祉協議会での事業説明，連携
- 民生児童部会勉強会への参加
- 地域のイベント会場にてチラシ配布や会員募集の協力
- 県内ファミリーサポートセンターとの情報交換